

村山祥栄 政策発表

しがらみを断ち切る、本気で行財政改革！
～京都市財政健全化を4年でやり切る～



プロフィール

村山 祥栄

Shoei Murayama

昭和53年2月生まれ 45歳

マクリン幼稚園、下鴨小学校、東山中学校、東山高校卒業

中学時代、自己保身に走る政治家をみて、「自分なら命をかけて働く」と政治を志す。

平成8年 専修大学法学部入学 学生時代は衆議院議員 松沢成文秘書として政治の現場で奔走。

平成12年 株式会社リクルート入社（SUUMOの営業マン）

平成15年 京都市政史上最年少で初当選（以後5期連続当選）

平成20年 京都市長選挙立候補、惜敗

平成22年 地域政党京都党結党



目次

- 01 しがらみを断ち切る、本気で行財政改革！
- 02 「京都に住みたい街」化計画
- 03 「京都だから働きたい街」化計画
- 04 「市民にもっと優しい街」化計画



しがらみを断ち切る、本気で行財政改革！ ～京都市財政健全化を4年でやり切る～



01



目標を決めて厳格に。

10年目



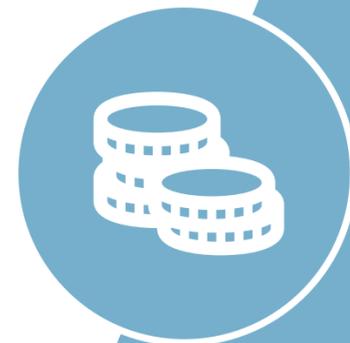
政令市財政健全度一位

8年目



公債償還基金の積戻し完了

4年目



政令市財政健全度平均値クリア、
財政調整基金目標額150億円

しがらみを断ち切る、本気で行財政改革！

公共施設の集約・効率化・最適化

- ・学校歴史博物館と京都市歴史資料館の統合
- ・環境学習施設の『さすてな京都』への集約
- ・効率的な学校統廃合
- ・市立幼稚園の再編成
- ・市営住宅の戸数適正化
市営住宅の空き用地は民間賃貸活用や高齢者福祉施設への転用

公有地の有効活用

- ・公有地の貸付は適正賃料への見直し

生活保護の適正化

- ・不正受給への厳しい対応
- ・本当に必要とされる方への適切な対応
- ・生活保護現物支給の拡大

デジタル化の促進

- ・マイナンバーを活用した手続き・業務の簡略化
- ・マイナンバーを活用した利便性の高い診療体制の確立と医療費削減
- ・スマホで手続きが完結する区役所手続きのゼロストップ化
- ・役所内のペーパーレス化
- ・選挙における記名投票から電子投票への転換
(開票作業の負担軽減、投票所の人員削減による期日前等の投票所の増設)

交通局民営化の可能性を検討

- ・市民の足を継続的に保つため、株式会社化や上下分離方式なども視野に入れ、幅広く事業形態の在り方を模索

無駄の圧縮 (事業の廃止・縮小、作業効率化)

- ・事業3%削減×3%の効率化
- ・外郭団体統廃合、出向見直し
- ・競争入札の見直し

人件費の効果的な見直し

- ・職員配置、給与表、手当の見直しによる昇給意欲増進と人件費全体の縮減
- ・中途採用では経験とキャリアを活かす職員配置
- ・人事委員会や選挙管理委員会など各種行政委員の報酬の日当制化
- ・働き方改革による残業の削減

市民しんぶんの配布の民間委託化及びデジタル化

- ・市民しんぶんの配布の民間委託化による市政協力委員の負担軽減
- ・区民しんぶんの廃止
- ・市民しんぶんのデジタル化への移行

身を切る改革 (給与・退職金カット)

- ・市長の給与30%カット
- ・市長の退職金廃止
- ・市長の地域手当の廃止

市民負担に頼らない新たな財源

- ・ふるさと納税、企業版ふるさと納税の更なる増加への取組み
- ・返礼品の更なるブラッシュアップと財源の用途を限定するなどの工夫
- ・古都協力金制度の創出(東山3K協力基金拡大)

02

「京都に住みたい街」化計画

現役世帯を呼び込むことで納税人口を増やし、
財政基盤の安定化を図るとともに、住環境の改善、都市魅力の向上を図ります



子どもの遊び場創出

- ・各区に「子供の楽園」を
子育て世代への配慮やインクルーシブな視点を取り入れた
大規模公園を各区に順次設置
- ・市役所・区役所内キッズスペースの整備
区役所のDX化により生まれるスペースをキッズスペースとして活用
- ・民間の屋内プレイランドの無料利用券頒布

0歳児見守り訪問「おむつ定期便」

保育ステーションの整備

- ・駅前のステーションに子供を預ければ、保育園バスが迎えに来る画期的サービス(待機児童、定員割れ保育園対策にも)

病児保育・一時保育を各区に整備

子育て世代の家庭負担軽減

- ・18歳までの子ども医療費無償化
- ・給食費の無償化
- ・保育料無償化(4年以内に第2子以降、8年以内に第1子も)
- ・子育て支援施策の所得制限全面撤廃

児童虐待ゼロの町京都を目指して

- ・児童相談所機能を大幅拡充
- ・警察や地域との連携強化
- ・子どもの居場所作り支援

発達障がい児支援

- ・早期発見と相談体制の充実
- ・幅広い高度な専門性に基づく発達支援の質の底上げ
- ・福祉と医療の一元化



洛西ニュータウンの再生

- ・地下鉄延伸に代わる次世代型路面電車の敷設
- ・民間活力を活用したニュータウン全体の大改修



※すべてのイメージ画像はGoogleマップを元に作成

周辺部への資本集中投下

※周辺部・・・山科・醍醐・洛西・洛南エリア等

- ・特徴的学校の創設
- ・高さ・容積率の緩和
- ・エリアブランディングの導入
- ・シティーセールスの実施

教育無償化

★高校教育の無償化

- ・国、府の実施する私立高校授業料実質無償化の制度を所得制限で受けられない家庭に市独自で上乗せ支援

★給食費無償化と中学校給食の早期実現

- ・給食費の無償化<再掲>
- ・5年後とされている中学校給食の実施開始時期の前倒し
- ・短すぎる給食時間の改善

★奨学金返済免除都市宣言

- ・卒業後、京都市内在住者または市内勤務者の奨学金返済補助

★保育料無償化(4年以内に第2子以降、8年以内に第1子も)<再掲>



塾いらずの学校教育

- ★一方向授業から個々人の興味・成熟度に合わせて探求型教育の推進
- ★民間のコンテンツをGIGA端末で積極的に活用
- ★デジタルドリルの更なる活用
- ★全小中学校の授業ライブ配信実施
- ★塾が運営する公立小中学校の実現 / 第二・第三の御所南小学校を民間とつくる
- ★公立の国際バカロレア学校新設 / ハーバード大学に行ける学校をつくる
- ★プログラミング教育校やフリースクール型学校など特色ある学校新設
- ★通学校区の部分的撤廃
- ★子育てバウチャーによる習い事等支援



塾いらずの学校教育

●スクリレの活用拡大

- ・学校と保護者の連絡専用アプリ「スクリレ」のアップデートと更なる活用

●プール授業の民間スポーツクラブへの委託

- （生徒への効果的な指導、プール施設の維持・改修費、教員の負担軽減）

●学校のグラウンドの全面開放

- ・ネット予約で誰でも使えるグラウンドの実現

●文化芸術とスポーツの活用

- ・地域のスポーツ活動の積極的な支援
- ・スポーツボランティアの支援
- ・京都市京セラ美術館を活用した子ども達へのプログラム提供



03

「京都だから働きたい街」化計画

生産性の高い企業の誘致や、スタートアップ支援などにより財源のさらなる積み増しを
狙うと同時に市民所得を引き上げます。



高収益企業誘致で所得アップ

★京都駅周辺部ビジネス街化計画

- ・お洒落で大型のオフィスエリアを整備

★京都ブランドと円安を生かした外資系企業誘致

- ・向島に大型の外資系企業誘致エリア創設

★沓掛・大原野に物流センター・工場誘致

- ・市街化調整区域の撤廃、流出企業を止める

★東京からの企業を徹底誘致

- ・IT、サービスなど京都が弱い産業の誘致、京都が持つデザインとの結合



高収益企業誘致で所得アップ

●奨学金返済免除都市宣言(再掲)

- ・卒業後、市内在住者または市内勤務者の奨学金返済補助

●スタートアップ・ベンチャーと学生のマッチング強化

●働く人の賃金UP

- ・10年間で所得30%UP目標
- ・企業のDX化、省人化、効率化を支援
- ・高齢者や障がい者の労働支援

●外国人材確保

- ・外国人労働環境の整備



「市民にもっと優しい街」化計画

財源のない中でも必要な福祉は、財政再建による財源確保のみならず、技術革新やDXを駆使し、これまで以上に質の高いサービスを実現します。



04



●ICT(京都アプリ)を活用した観光地の混雑対策

- ・主要観光施設の混雑予測
- ・主要観光施設の予約(ファストパス)
- ・WEBチケットの購入
- ・公共交通・観光地のリアルタイム混雑状況
- ・観光システムチケットレス決済
- ・ふるさと納税でクーポンゲット

●市バスの生活路線・観光路線分離(1日乗車券も別々に)

●地下鉄・バスの乗り継ぎ無料化

●市バス路線の全面見直し

●手ぶら観光推進のためのロッカー整備

●ホテル立地規制条例の新設(ベッド数を市内でコントロール)

●大型パーク&ライドの実現(市内への車両流入のを減らす)

●スマートごみ箱設置(センサー管理&圧縮であふれないゴミ箱)

●京都市マナー条例の新設

違反者に罰則も設定し、京都市をマナーに厳しい街としてブランディング

●観光分散

- ・グリーンツーリズム、スポーツツーリズム、アートツーリズム等、
多様な観光に対する更なる価値創出

●宿泊税の用途の限定

宿泊税の活用は用途を限定し、観光客にとっての利便性向上、市民にとって生活環境の向上に資するものに使い、双方の理解を得られる形に。



●生活困窮者を支援する生活再建チームの創設

●福祉人材の確保と定着支援

- ・ICT機器や介護ロボット等の導入・活用を支援し、職員の負担軽減

●すこやか賃貸住宅の拡大

- ・高齢者の入居歓迎の物件の拡大

●障がい者、高齢者の雇用促進

●ヤングケアラー支援

- ・ヤングケアラー支援の担当課を創設
- ・ピアサポートの充実
- ・ヘルパー派遣制度の拡充

●5G最先端都市へ

- ・インフラシェアリングの推進

●市民の足の維持

- ・交通不便地域では、オンデマンドバスなどの次世代交通やライドシェアなど、

地域に即した柔軟な対応で市民の足を維持

- ・市街地では、MaaSの導入やBRTの敷設等を検討。

●電動キックボード・自転車の安全な活用

- ・シェアサイクルの普及促進
- ・電動キックボード・自転車の安全対策。路上駐輪対策

●道路の維持管理

- ・主要道路の消えた白線の塗り直し
- ・破損道路修復の対応平均日数の設定と明示
- ・私道補修助成金の財源確保

●公園の維持管理

- ・民間活力の公園への活用

●空き家対策

- ・住宅供給会社による定期借地権分譲を検討
- ・路地裏の再建築が困難な物件の活用に向けた取り組み



●農業用水路の防災強化

- ・泥上げ等防災環境の見直し
- ・農業用水路の改良整備

●沿道の倒木対策・事前伐採

●「One Health」意識による動物愛護

- ・まちなこ支援活動事業の要件の見直し
- ・愛護センターで保護する犬猫の家庭への譲渡の促進

●災害時の避難所の改善

- ・市内ホテルとの避難所連携
- ・ペット避難所の整備
- ・避難所への防災備品配備
- ・要配慮者への避難ルール改正

●消防団器具庫維持改修

- ・消防器具庫の改修の全額公費化

●大型ごみのリサイクル促進

●市民パートナー制度の導入と市民提案枠予算の導入

京都市ではパブコメや市長の手紙など市民の声を聴く姿勢はありますが、形式だけで市民参画している実感もありません。数千人単位の市民を登録してもらう市民パートナー制度を導入し、政策決定をマーケティングで決定、減らすも増やすも相談して決めていきます。特に女性目線を取り入れた政策執行にも注力します。また、市民提案コンペを実施し、市民や議員が審査し決定する市民提案枠予算制度を作ります。

●プッシュ型の広報・行政サービス

- ・世代を問わず必要な情報を入手できるようプッシュ型の視点で
HP・アプリを見直し

●CO2排出ゼロの脱炭素都市に向けて

- ・グリーンで電力の供給支援や普及促進
- ・新設の公共施設のZEB化実施
- ・既存の公共施設のZEB化検討
- ・民間住宅、商業施設のZEB化・ZEH化推進



日本はもちろん世界に誇れる京都の歴史・伝統・文化を活かし、さらに発展させていくための政策を推進します！

●関西副首都構想

- ・京阪神で副首都を引き受ける取り組みを推進
- ・万博を契機とした京阪神の経済連携と成長を推進

●文化首都制定法の実現

●町家の保全・景観の維持

- ・京町家の滅失防止のための権利者と活用希望者のマッチングに対して
公的資金の注入と京都市独自の対策チーム組織編成

